



6月ボランティアスクールを開校、大月市消防本部に依頼し「救急救命法」を48名が学びました。前回までは、「スクール」に参加して学び、地域やサークルに持ち帰り学んだことを広めることが開校の目的でしたが、今回は事前学習から始めました。

まず、各地区のAED設置場所を会員が調査し、その後、スクールに参加、AEDの使い方を体得しました。また、学報として各地区の設置場所の情報交換を実施しました。

大月市ボランティア協議会では、今まで、市内にAED設置個所の一覧表はなかったのですが、今回、設置場所データを作成しました。このことにより、ボランティア活動の幅が広がりました。

皆さんの地域で、このデータが必要のようでしたら、情報提供できますので、ボランティアセンターまで、お問合せください。



## 平成29年度 災害ボランティア養成講座

を開催しました!!!

昨年8月の台風5号の影響による豪雨、また、それに伴う土石流被害など、私たちは、改めて自然災害の怖さを思い知りました。

それを受け、9月29・30日と二日間にわたり述べ128名が参加し、風水害またそれに伴う土石流被害を想定し、災害への知識を深め、常日頃からの備えについて考え、学びました。

講師には、一般社団法人DPLS・JAPAN N代表理事の土屋和也氏、DRT・JAPAN 関東風組 小林直樹氏・庄子俊英氏・小林光氏をお招きし、平成29年7月九州北部豪雨災害にあった朝倉市の被害状況やボランティアの活動、現地ではどういったことがボランティアに求められるか、また、水害に対する家屋の保険やカビの恐ろしさとその除去の重要性を学びました。

実技としては、床板剥がし訓練と炊き出し訓練でした。家が水害に遭った時の補修費用は、高額です。少しでも安価に補修できるように床板を剥がす時の技を教えてくださいました。また、炊き出し訓練は、備蓄食ではなく、平時から家にあるものでできる災害ごはんづくりを意識し実施しました。

参加者からは、「炊飯器がなくても米が炊けるのはいいね。」や「保険の見直しをしてみようかな」などの感想をいただきました。災害はいつやってくるかわかりません。その時を乗り越えるためにこれからも本講座を続けていきます。皆様、ぜひご参加ください。



▲床板剥がし訓練



▲炊き出し訓練

大月市ボランティアセンター  
 (大月市社会福祉協議会内)  
 大月町花咲10  
 (大月市総合福祉センター)  
 電話:0554-23-2001